



バグダッドLO日々業務報告(1月16日1900)

区 分	内 容
1 警戒態勢等	(1) サマーワに直接影響を及ぼす脅威情報 (2) イラク全域に係る脅威レベル サマーワ及びバスラは、バグダッド及びモスルは、ラマディは
2 特記事項	な し
3 本日の業務	(1) 情報収集及び連絡調整 (2) 5次要員に対する申し送り
4 明日の予定	(1) 情報収集及び連絡調整 (2) 5次要員に対する申し送り
5 その他(備考)	な し

バグダッド 日 誌 (1月15日)

- 立ち見仲間が増えた？
- ・ まもなくMNC-I司令官が交代する。米軍の部隊や司令部のスタッフも大幅に入れ替わる。これまでは外を歩けば知り合いと会い、挨拶の他二言三言世間話をしていたが、最近はずれ違う米軍に知り合いが少なくなった。米軍のみならず、各国LO特にスタッフLOが勤務するO2CASEのLOの交代もピークを迎えている。知り合いが日に日に少なくなるようで寂しい限りである。
  - ・ 毎朝のMNF-I司令官報告(BUA)でも、見かける将校の顔ぶれが変わってきた。ブリーファも交代し、声もいつもの報告の調子も変わった。何となくわかりにくいと感じるのは、私の聴取能力の不足ばかりではないと、自分では思っている。
  - ・ JOC内での幕僚長 の席はMNC-I司令官 の隣で、JOC内(100名以上の多国籍軍将兵が参加している)ににらみをきかせていたが、今朝のBUAでは新任の に変わっていた。
  - ・ は、これまでBUA実施間、周囲の様子に目を配りつつも、何かと に話しかけていたが、今日は が新任の幕僚長にしきりと説明している様子であった。(もちろん何を話しているかは聞こえないが)スライド1枚1枚、自ら解説されている様子がうかがえた。
  - ・ ハギンズ准将はというと、JOCの最後尾で、立ち見をしている。相変わらず厳しい視線をJOC内の各スタッフに向けてはいたが、その表情はいつもより穏やかに見えた。米軍の将軍も突オペレーションの司令部幕僚長を下着するとなると、やはり「ホッ！」とするのだろうかと思った。
  - ・ 私は、立ち見する旧幕僚長と新任の幕僚長の様子を伺いながら、英国LOの席にチャッカリと座ってBUAを聞いていた。「BUAの立ち見は疲れるでしょう？」などと話しかける勇氣はもろくなかった。
- 誰でしたっけ？
- ・ 私がこれまで直接接触してきた司令部内の将校一人一人に、私自身の帰国の挨拶をしつつ、後任者を紹介して回った。彼らの中にも、まもなく帰国する者も多い。帰国が近い者は、帰国日が私より早いとか遅いとかが話題となる。
  - ・ 着任間もない将校やまだまだ3ヶ月以上の任期を残す者は、私に対して「いいよな～さっさと帰ってしまえ!」、後任の者(5次LO長)には「お前とは仲良くやれそうだ」などと皮肉を言うやつもいる。それなりに楽しい会話である。
  - ・ 今日一日で約20名と挨拶し、廊下ですれ違うやつも含めると相当な数の外人と話した。挨拶回りの後半になると5次LO長は、「さっき話したのは誰でしたっけ?」と混乱している。申し送りのメインは主な関係者の把握であるが、これだけ多いと、国籍と名前を覚えるだけでも一苦労である。改めて、こんなに大勢の外国人将校達に支援してもらっていたことを実感する。5次の要員も、時間と仕事を通じて更に人脈を拡大することになるのだろう。